

看護の出前授業

広島県看護協会

# 「相手の心と体 尊重して」 助産師が命の大切さ伝える

保健師、助産師、看護師、准看護師による職能団体の広島県看護協会（広島市中区）は、専門職の知識を生かして地域貢献に取り組んでいます。その一環として会員が学校に出向き、看護などのエピソードや体験を交えながら生徒に直接語る「出前授業」を実施しています。廿日市市立野坂中ではこのほど、助産師による命の大切さをテーマとした授業があり、生徒たちが熱心に耳を傾けました。

母親のおなかの中で赤ちゃんが育つ様子を学ぶ男子生徒



「自分の命を大切に、未来を切り開いてほしい」。講師を務めたJA広島総合病院（廿日市市）の助産師、田尾由美子さん（60）が、生徒たちに優しく語り掛けます。中学3年生130人が男女別に分かれて受けた授業では、田尾さんが妊娠と出産の大変さや交際のトラブル間の暴力「デートDV」について分かりやすく説明しました。

## スライドや模型で学ぶ

冒頭では、スライドを見ながら赤ちゃんが誕生するまでを学びました。田尾さんは「みんなの命は、両親の奇跡的な出会

## 妊娠・出産や「デートDV」

いから始まっています。10世代さかのぼると約千人も先祖がいるんですよ」と命のつながりについて触れました。赤ちゃんは母親の子宮で38週間ほど育って生まれます。子宮の中でおしやぶりして食べる準備をするなど、生きる力を備えているそうです。赤ちゃんの人形や

骨盤の模型も使って、生まれた時の大きさや出産の大変さを伝えました。日本の大半の赤ちゃんは、周りの人に支えられて成長しますが、世界では紛争や飢饉で命を落とす子どもも珍しくありません。「今、悩み事があつて自分の命なんてどうでもいいと思っている人がいるかもしれない。でも、今まで支えてくれた人のためにも自分の命を大切にしてください」と、田尾さんは温かいメッセージを生徒に届けました。



赤ちゃんの人形を使って授業をする田尾さん

## 恋人への暴言も暴力に

続いて、交際相手との間に起こるデートDVの知識を学びました。被害者や加害者になる可能性は、男女どちらにもあります。特に女性は被害者になるケースが多く、20歳代女性のおよそ3割が経験しているそうです。体を殴る蹴るだけが暴力ではありません。暴言や相手のスマートフォンをチェックしたり、無視した

か抜け出せないのが特徴です。

田尾さんは「今の状況がハッピーかどうかを考えて判断してください。おかしいと感じたらノーと言いましょ。悩んだときは養護教諭や信頼できる人に相談して」と呼び掛けていました。そして「交際相手は物ではなく人間です。相手の心と体、未来を大切にしましょ」と呼び掛けていました。

野坂中3年 養浦 大輝さん

### 相手を思いやる心 大事

恋人の間で起こるデートDVについて初めて知りました。どんなときも相手を思いやる心が必要だと思いました。



野坂中3年 梶川 華さん

### 赤ちゃんの生命力に 驚き

母親のおなかの中で頑張っている赤ちゃんの生命力に驚きました。将来は人の命を守る医療関係の仕事に就きたいです。

